



津南中等教育学校 同窓会報

第4号
発行者
津南中等教育学校
同窓会
TEL 025-765-2062
印刷 津南印刷商事



津南中等での6年間

同窓会副会長 四期生
反り目 直史

私は現在、上越市にある上越教育大
学に在学している。大学生になり自由
度がぐっと増して、自分の好きなこと
に費やす時間をたくさん確保できるよ
うになった。講義が午後からの日は午
後まで寝ていたり、友達と朝まで遊ん
だりなど、生活は不規則になりがちで
ある。大学でも学園祭や、部活動など
様々なイベントや活動があるが、そん
な時にふと思いつくのが津南中等で過
ごした時間である。

津南中等にも様々なイベントがあ
る。体育祭、文化祭、チャレンジウオー
ク、スキー授業、海外研修、修学旅
行、オリエンテーション合宿、東京研
修など、多種多様な体験ができ、その
度に仲間と協力し、成長することがで
きた。また自分は部活動もやっていた
ので、そこでも大きく成長することが
できた。このイベントの中で私の心に
最も印象深く残っているのは、オリエ
ンテーション合宿だ。入学してすぐに
泊まりの研修があると聞いて最初はと
ても不安だった。クラスメイトの名前
を覚えていないし、友達もほとんどい
ない状態で行き、楽しみと不安が混
じった何とも言えない気持ちだったこ
とを今でも鮮明に覚えている。オリエ
ンテーション合宿の代名詞と言えば、

オリエンテーリングだ。チームメイト
と協力してクイズを解き、時間内に宿
舎に戻るといふものだが、自分たちの
班は途中で道に迷ってしまい、自力で
宿舎に戻ることが困難となってしまっ
た。そこで班の仲間と相談して、民家
に電話を借り、先生に連絡してなんと
か宿舎に帰ることができた。ここで自
分は、仲間と協力すればどんなことも
解決できると学んだ。

大学生活中に中等での6年間を思い
出した時に、仲間との思い出溢れると
ても楽しい時間であったと感じてい
る。在校生には、中等在学中にしかで
きないことを存分に楽しんでもらい、
仲間と協力してたくさんの思い出をつ
くってもらいたい。卒業生には、中等
での経験を大いに活かして様々な分野で
活躍してもらいたい。



■中等での豊かな歳月に

津南中等教育学校校長 遠間 春彦

創立10周年を迎えた昨年、同窓会の皆様には物心両面にわたり御支援をいただき、感謝申し上げます。特に10月31日の創立10周年記念式典・講演会と祝賀会には金澤同窓会長をはじめ、多くの同窓生の皆様に出席していただき、大いに盛り上げていただきました。ありがとうございました。また、この3月には第5期生が入会します。1年目の新入会員をどうぞよろしく願っています。

今年はまだ第1期生が大学卒業の年となりました。昨年5月には第1期生5人が、本校同窓の教育実習生として後輩の指導に当たってくださいました。その際、創立期のいろいろな苦労話を在校生に楽しそうに語っていただきました。

孔子とその弟子達の対話の言葉をあつめた『論語』に、次のようなことばがあります。「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを樂しむ者に如かず。」

このことばは、「物事を勉強してただ知っているという人は、それを好んでやっている人にはかなわない。物事をただ好んでやっている人は、それを心から楽しんでやっている人にはかなわない。」という意味です。

本校の生徒を見てみると、確かに課題テストや模擬試験に追われて大変そうではありますが、6年間の学校生活を、勉強を含め楽しみながら取り組んでいる様子が伺えます。それも第1期生以来の本校の伝統である「夢の実現」という明確な道しるべがあるからなのだと思います。そこに第1期生から連綿と引き継がれてきた本校生徒の強さやたくましさを感じます。

創立10周年を迎えました本校同窓会の益々の発展を祈念しますとともに、今後とも、本校ならびに本校卒業生に対する御支援をよろしく願っています。

今回の同窓会報では、10周年にあたり卒業生の皆さんに津南中等での思い出を振り返っていただきました。

「己に勝る敵はなし」

1期生 藤ノ木 はるか

これは津南中等で出逢った先生から言われた言葉の中で、私の記憶の中に残っている言葉の一つです。

私は津南中等教育学校を1期生として卒業した藤ノ木はるかです。私達が卒業し4度目の春が来ました。卒業してから4年という時間は経ちましたが、津南中等で「夢の実現」を目標に過ごした日々は現在でも私にとって色あせない大切な思い出です。先生方の楽しい授業、休み時間に友人達とした何気ない会話、本気で応援した体育祭など沢山の思い出があります。その中でも鮮明に覚えているのは部活動です。私は陸上競技部に所属し、仲間達と一緒に練習に取り組んできました。入学当初は先輩もいない、ユニフォームもない、ゼロからのスタートでした。しかし、どんなに暑い日もどんなに寒い日も、当時顧問をしてくださっていた丸山義則先生は毎日毎日熱心に指導をしてくださりました。練習の中で丸山先生がよくおっしゃっていた言葉が最初に述べた「己に勝る敵はなし」です。練習の中でどんなに辛いメニューでも私が乗り越えることができたのは、この言葉と仲間達がいってくれたからです。卒業した現在でも、悩んだ時や挫折するような時に思い出すのはこの丸山先生の言葉であり、悩みの相談相手は陸上競技部で出逢った仲間達です。陸上競技で大きな結果は残せませんでしたがかげがえのない恩師と仲間に出会うことができました。津南中等での出逢いや思い出を大切にし、これから社会人として誇りと自覚を持ち過ごしていきたいと思います。

津南中等の思い出

1期生 村山 彩夏

卒業から4年経ち、教育実習のために再び3週間通った中等は、なんだか懐かしい気持ち湧き上がりました。6年間通った校舎に部活で汗を流した体育館、休みの日に通っ

た進路資料室や6年生全員で1年間一緒にホームルームをした多目的教室。先生方も私たち1期生も手探りの6年間でした。しかし、その中で私たちは様々なことを体験させていただきました。特に、文化祭や体育祭といった行事は当時生徒会執行部の一員として深くかかわったこともあり、とても思い入れのあるものとなっています。一番初めの執行部は10人にも満たないメンバーでした。現在のように色々な委員会があるわけではなく、執行部は様々な行事の中心でした。今となっては我が校定番の体育祭フィナーレですが、他の学校にはフィナーレがある、というある先生の一言がきっかけだったと思います。全く予想もつかないまま、イメージだけでスタートしました。体育祭の盛り上がりにはふさわしいフィナーレとは？アイデアを出し合い、決定したのがくす玉でした。自分たちでくす玉の玉から作り、試行錯誤を繰り返しました。そして、当日。「体育祭、封鎖できません！」という金澤生徒会長の名演技のもと、くす玉はうまく割れ、フィナー

レは無事に成功しました。中等での思い出は他にもたくさんあり、語り尽くせません。新しいことなど大変なことも色々ありましたが、1期生の皆さんと過ごした生活は本当に楽しかったです!!



苦し樂し受験生活

2期生 高橋 一生

中等生活のなかでは、良くも悪くも受験がらみのことが印象深く残っている。

まず5年生のときの話。当時から、現在通う東北大学への進学を考えており、オーブンキャンパスも見に行きたいと思っていた。しかし生憎にも学習合宿と重なってしまい、先生方との壮絶な欠席交渉のもとでオーブンキャンパスに出掛けた、ということがあった。合宿を蹴った形になりそのことを論ざれたりもしたが、事実としてオーブンキャンパス参加は進路選択でかなり参考になり、そして実際にいま東北大学で学業に励んでいるので、これに免じていただければと(笑)。

6年生となり受験本番を控えての時期。特編授業ではセンター数学の成績が安定せず少々苦しんでいた。そのことで時々先生にイジられ、それで一層勉強せねばと一応は奮起していたこともよく覚えている。結局センター試験本番では、伸びこそしなかったが悪くはない点数を取れ

た。そして強気にもAO試験を受験し、運良く合格することができた。

受験勉強は実際苦しいものだったが、私はそれをうまいこと楽しみに変えていた。度々あった学習合宿や、さらにセンター本番の前泊も、ある意味で友達みんななどの小旅行であり旅行好きの私にはそれはそれで楽しい行事であった。また特編授業は、せっかく1、2組が同じ教室にまとめられているからと、休み時間には皆と以前よりもいっそう与太話を花を咲かせたりした。

こうして思い返してみると、そういうところが中等らしい受験生生活だったのかとも思えてくる。そんな受験期間も、私の中等生活の思い出の一つである。



合唱コンクール

2期生 福原 亜美

私が津南中等教育学校での6年間で1番心に残っているのは、3年生の時の合唱コンクールです。

「最優秀賞をとってハロウィンパーティーをする！」を目標にクラス全員で協力しながら毎日ノートに改善点を書き出して練習していた日のことを今でもよく覚えています。結果として最優秀賞を取ることにはきませんでした。みんな手で手を繋いで最優秀賞まで3年2組が呼ばれないことを祈った時間、優秀賞で最初に3年2組が呼ばれた時にみんなが流した嬉しいよりも悔しいが勝ってしまった涙は忘れられません。

昨年の10月、とある中学校に教育実習に行かせていただきました。実習期間がちょうど文化祭の期間に設定されていて、2週間中最初の1週間は毎日合唱の練習があり、実習の折り返しが文化祭当日でした。生き生きと指示を出すリーダー、大きな声を出そうとしている生徒、恥ずかしいのかなかなか口を大きく開けることのできない生徒、頑張りが少し

先走ってしまいつい友達への注意がきつくなってしまいう生徒、本番前の緊張でいっぱい表情、真剣な目。たくさんの生徒たちとその様子を見ながら思い出したのはやはり3年生の合唱コンクールでした。

最優秀賞を逃してしまった私、そして当時の3年2組は最初に立てた目標を達成することはできませんでした。しかし、合唱を通して私が知ることのできた仲間と喜び合うこと、涙を流し合うことの温かさは合唱の完成度や順位よりも私の心に残り続ける大切な思い出です。

カルチャーマンション

3期生 滋野 彩香

津南中等在学中の、強烈に記憶に残っている思い出の一つとして、海外研修での体験があります。

ニュージールランドに着き、ホストファミリーと対面した私は、その日の夕食の買い物をするために、近くのスーパーに行くことになりました。

ひととおり食材をカートに入れ、子供たちの要望でお菓子コーナーに移動した時、衝撃的な光景が目に見

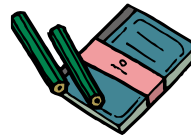
び込んできました。

長男の男の子(当時5歳)が、カートに入れてあったバナナを取り出すと、おもむろに皮をむいてその場で食べたのです。驚いて周りを見回しましたが、ホストマザーもホストファミリーも、他のお客さんも気にしている風がありません。私がオロオロしているうちに、男の子はバナナを一本食べ終え、今度はクッキーの箱を堂々と破り、中のクッキーを取り出して食べ始めました。清算をしないうちに食べても大丈夫なのか、とたどたどしい英語でホストマザーに尋ねると、「It's OK」という明るい言葉と笑顔が返ってきました。清算時に食べた分のお金も払えば問題ないということは帰国してから知りましたが、その時の私には大変な衝撃でした。

初めての海外旅行の上に、英語があまり得意ではなかった私は、不安と緊張でガチガチになっていました。しかし、その時の光景はそんな気持ちを一瞬で吹き飛ばしてくれました。

その後の滞在期間、私は日本では見かけない食べ物や日本と違った習

慣など、気になったことがあると、そのつどホストファミリーに質問し、知識を増やし、ホストファミリーとの交流を深めていきました。知識と言っても雑学程度の、日常生活には役に立たないようなものばかりですが、私なりの海外生活の楽しみ方を考えるきっかけになったこの出来事とともに、ずっと覚えておきたいと思えます。



中等生の思い出

3期生 緑川 佳也

私たち3期生が卒業してからも2年が経とうとしています。同級生と会えば津南中等で過ごした思い出を語り合っています。体育祭や文化祭、海外研修、中間・期末テストのようなイベントだけではなく、授業や朝テスト、補習、昼休みというような日常的事も話題として挙げてきます。そんな中でよく話題に挙がるのは私が理系大学に行きたくて理転したことです。

文理選択を決めるときは成績が悪く文系しか余地がない状況でした。必死に追いつこうと勉強していく

中で理系教科が徐々にあがり理系大学に興味を持ち、行きたいと思うようになりました。担任だった荒木先生に理転したいと打ち明けた時に猛反対に遭ったことをよく覚えています。それでも挫けずに訴えかけ、模試は理系で授業は文系のままならやってもいいと言われた時はうれしかったです。それから独学で理系科目を勉強していましたがしよっちゅう助けてもらっていました。理系だけでなく文系も赤点取らないようにぎりぎりまでテスト勉強を手伝ってもらっていました。多くの人に支えてもらって卒業することができました。

この津南中等でできた友達とのつながりや貴重な体験は今後の人生で活かされると思います。様々なことに感化され、考えや物事の見方が多様化すると思います。なので、社会の中に出るまでに多くのことに挑戦してほしいです。そして、自分が輝いている・輝けそうな道に進み、活躍していることを願っています。

津南中等での思い出

4期生 井ノ川 誠

津南中等での6年間を振り返ると、様々な思い出が頭に浮かびます。野球部での日々や年に1度の文化祭、初めて海外に行った海外研修、友人らと楽しく会話しながら食べた給食やお弁当、毎日歩いたバス停までの道などなど、大きなものから小さなものまで多くの思い出がありますが、私が特に印象に残っているのは、6年生の時の体育祭の思い出です。

私は中等生活最後の体育祭で何か思い出に残ることをやろうと思い、同級生のN君とY君とともに競技の実況放送をすることにしました。本番までの強化週間では、自軍の応援練習などの傍ら、実況の役割分担や衣装決めをしました。しかしそれだけではなく、私たちは体育祭のフィナーレを自分たちの手で盛り上げてやろうという考えのもと、先生方や生徒会と相談しながら、フィナーレの計画を練っていきました。その中身は、スポーツの大会の表彰式や祝勝会などでよく目にするシャンパン

ファイトをやり、互いがんばりを讃えあおうというものに決めました。

体育祭当日、天候不良によって体育館で競技が始まりましたが、白熱する競技と私たちの熱い実況(?)によって天候が回復し、午後からグラウンドで競技ができるようになりました。そしてあつという間にフィナーレを迎えました。シャンプンの代わりに用意していただいた炭酸水を皆でかけあい、体育祭ができた喜びを皆で分かち合いました。その時に輪の中心で皆を盛り上げ、楽しませられたことが、私の最高の思い出です。

ランキングの思い出

4期生 江口 希望

「中等での思い出はなに？」って聞かれる度に自分は数々の思い出が挙がってきます。部活で仲間と切磋琢磨してきたこと、体育祭や文化祭で少しでもみんなの役に立てるように努力してきたこと、友達とわいわい遊んだことなど数えていたらきりがないほどに。そんな思い出の中にほかの人とは少し違ったことをし

ていた思い出もありました。

それは地理の授業のほんの少しの時間を使って「なんでもランキング」というものを実施していたことです。これは「5-1の血液型」「1-2で印象に残った思い出」などを調査してそれらをランキング化させてポスターとして掲示していました。最初は編集作業担当になって少し乗り気にはなれませんでした。けれども、自分の思い描くように作る面白さに気づいて、それから自分から「なんでもランキング」の編集を担うようになりました。そしてついにはどうやればより面白いものに仕上がるか探求していた時期もありました。また最後の言葉の部分をまとめることにより自分の語学力を磨いたりしてしまいました。

大学生になった今でも自分が編集した原稿を残しています。これらを見るたびにあの時の探求心を思い返すことが出来るからです。そして、またいつかランキングをやってみようかなと密かに思いながら一日を過ごしています。

これまでとこれから

4期生 滝沢 悠斗

ピアノが置いてある音楽室の入り口の小さなスペース。傾きかけている太陽の光が差し込むその空間の中で、まだ一年生だった私は、ピアノを弾く女の子の背中から目が離せませんでした。少しの切なさを覚える青春の記憶。今でも脳裏に浮かぶその光景は、現実だったのか、それとも夢だったのか。どちらにせよ、私には忘れられない、思い出の場所、そして、特別な存在です。

津南中等で六年の月日を過ごしました。教室で笑ったり、世界史で先生に話しかけたり、トイレを全力で掃除したり、ランチルームで給食を食べたり、五限の時間に寝そうになったり、音楽室で歌ったり、グラウンドでボールを追いかけたり、バス停まで歩いたり、バスから夕日を眺めたりしているうちに、いつの間にかまた一日が終わっていました。何年もいれば、それはもはや当たり前前の日常。卒業した今、その当たり前だった日々はもう、目の前にはありません。

当たり前の日々はすでになくとも、思い出の場所や同じ時間を過ごした仲間は、離れていても、今も変わらず、訪れることも会うこともできます。思い出の場所に訪れれば、忘れていた瞬間をさらに思い出して懐かしい気持ちになります。一生の仲間会に行けば、くだらない昔話を共有してうれしくなります。

みなさんの思い出の場所はどこですか？大切な仲間や特別な人は誰ですか？
過ぎ去った思い出はもちろん、これから、この先も向きあうことのできる、校舎やそこで巡り合えた人々を大切に。おじさんになって、津南中等で4期生みんな揃って他愛もない昔話をするのが、私のささやかな夢です。



特集

津南中等初代校長

小熊牧久先生への

インタビュー

今回は、津南中等が10周年を迎えたというところで、初代の校長をなさっていた小熊牧久先生に、お話を伺って参りました！

—津南中等が10周年を迎えました。創立に携わった小熊先生としては、どんなお気持ちですか。

10年経ち、卒業生が社会に出て行く年齢となった。それぞれの進路を実現してくれていることに、ほっとしている。

—津南中等が創立された当時のお気持ちや思いはどのようなものでしたか。

若者の将来のためにも、地方の教育を豊かにしたい、高度な教養や知識を持った人材を育てたいという思い。また、負けてられない、という気持ちで頑張った。

—設立当時のことで、印象に残っている出来事はありますか。

1期生の入試をした冬は、豪雪の年だった。それまで雪がとてつもなく多かったのに、入試当日を迎えると天気は快晴で、雪は全くなくなっていた。よし、これなら大丈夫だ、と意気込んで臨むことができた。

—入学当初、津南中等生の印象はどうでしたか。

意識の高さ・積極性を感じ、やはり他とは違う、と思った。

—津南中等生の成長が見えたのはどんなところですか。

やはり、1期生が卒業を迎えた時に、進路を実現できたのだと実感した。

—これからの津南中等の未来については、いかがですか。

これからも、世の中を変えるような人材を地方から生み出せる学校であってほしい。

—最後に、卒業生にメッセージをお願いします！

ぜひ、また卒業生に会いたいと思っています。そして、何があっても怯まず、困難に勝って、勝者になって、世界のために貢献してください！

◎小熊牧久先生、本当にどうもありがとうございました！

第4回同窓会総会報告

去る2015年8月13日(木)、第4回目となる津南中等教育学校同窓会総会が開かれました。今年度は昨年度の経験と反省を踏まえ、会場を中等ランチルームへと戻し、1期生から4期生まで約60名の会員の皆様にご出席いただき、同窓会と母校の発展のために意見を交わしました。今回の総会では、同窓会役員再編に主に焦点を当て議論しました。結果として会則が一部変更となりましたのであわせて報告します。

第1号議案【平成26年度 同窓会 活動報告】について

第2号議案【平成27年度 同窓会 活動計画(案)】について

第3号議案【平成26年度 同窓会会計 決算報告書】について

第4号議案【平成27年度 同窓会会計 予算(案)】について

第5号議案【同窓会役員会 組織再編】について

○6月に臨時役員会を開いた際、組織として役員会がうまく機能していないことが話題になった。その整備をすることが急務と考え、以下を提案する。

- ①来期より新副会長の選任停止
→人数十分(現在4名)であり、選出停止が妥当。
- ②関東支部の一時凍結
→役員会本部の活動に注力し、順を追って支部の活動を開始したい。
- ③同窓会会報委員会の設置
→毎年活動の重要業務でありながら、これまで形がなかった。早急に設置したい。
- ④総クラス幹事長/クラス幹事長の設置
→役員会と各期生との連絡を円滑に行なうため、代表者を設定するのが適当。
会則第11条変更の必要がある。

第6号議案【同窓会役員会 一部役員継続および新規役員入会】について

第7号議案【同窓会会報 発行】について

○今年度より経費削減のために同窓会報をPDF化し、ホームページ上に掲載することを提案する。

第8号議案【同窓会役員会 旅費】について

○役員会を開催する際、県外に住む役員に対し一律5,000円を目処に旅費を支給する。

⇒臨席者賛成多数により、第1～8号議案は可決。

在校生の活躍 (部活動大会結果等)

【陸上競技部】

前期生

上越陸上競技選手権大会

〈男子〉1500m 第1位 5分1秒09 笠原大輔
 第8位 5分4秒12 渡邊佑真
 〈男子〉4×100mR 第6位 48秒12 風巻、滝沢、福原、桑原
 丸山翔大
 福崎広大
 山本愛梨
 原 来夏

後期生

春季中越地区高等学校陸上競技大会

5/6～8 長岡市宮陸上競技場
 〈男子〉800m 第1位 1分55秒58 桑原 陸
 〈男子〉八種競技第2位 4272点 山田翔太
 〈男子〉砲丸投 第4位 12m54 風巻 光
 〈男子〉110mH 第5位 16秒35 青木 涼

新潟県高等学校総合体育大会陸上競技大会

6/1～4 デンカビッグスワンスタジアム
 〈男子〉800m 第3位 1分59秒90 桑原 陸
 〈男子〉砲丸投 第6位 13m11 風巻 光

北信越高等学校総合体育大会陸上競技大会

6/14～16 デンカビッグスワンスタジアム
 〈男子〉800m 第4位 1分54秒43 桑原 陸

全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

7/29～8/2 和歌山県紀三井寺公園陸上競技場
 〈男子〉800m 予選6着1分55秒90 桑原 陸

新潟県高等学校陸上競技1年生大会

7/18 柏崎市宮陸上競技場
 〈女子〉円盤投 第6位 17m94 関口美輝

秋季中越地区高等学校陸上競技大会

9/4～5 十日町市宮陸上競技場
 〈男子〉砲丸投 第3位 12m71 風巻 光
 〈男子〉800m 第4位 2分08秒32 山田大貴
 〈男子〉400mH 第6位 59秒51 青木 涼
 〈男子〉110mH 第8位 17秒45 青木 涼
 〈女子〉4×100mR 第6位 53秒36 関口美輝、桑原比菜乃、高橋真紀、高橋真紀

新潟県選抜陸上競技大会

9/19～20 長岡市宮陸上競技場
 〈男子〉砲丸投 第3位 13m56 風巻 光
 〈男子〉3000m障害 第5位 10分13秒94 福原 翔

北信越高等学校新人陸上競技大会

10/24～25 石川県西部緑地公園陸上競技場
 〈男子〉砲丸投 第3位 13m63 風巻 光

【野球部】

前期生

十日町市・中魚沼郡大会

6/2 笹山野球場
 1回戦 8-0 松代
 2回戦 1-4 下条
 6/3 十日町市総合公園野球場
 5位決定戦
 1回戦 3-20 十日町(5回コールド)

十日町市・中魚沼郡新人大会

9/28 庚塚野球場
 1回戦 6-18 中里

後期生

春季新潟県大会

1回戦 6-9 直江津中等
 順位決定戦 19-0 十日町・松之山(5回コールド)

春季北信越大会

1回戦 0-2 富山商業

夏季選手権新潟県大会

B代表決定戦 5-6 直江津中等

秋季新潟県大会

1回戦 2-7 直江津中等
 順位決定戦 15-1 十日町・松之山(5回コールド)

【サッカー部】

前期生

都市大会

対 塩沢中学校 敗北
 対 大和中学校 敗北
 対 六日町中学校 敗北

都市新人大会

対 塩沢中学校 敗北
 対 六日町中学校 敗北
 対 大和中学校 勝利

後期生

Nリーグ

4/11 第1節 (糸魚川美山陸上競技場)

1-10 小出高校

4/19 第2節 (糸魚川高校)

0-14 糸魚川高校

4/26 第3節 (長岡向陵高校)

0-4 長岡高校

4/29 第4節 (長岡向陵高校)

0-2 長岡向陵高校

5/2 第5節 (長岡高校)

1-0 見附高校

5/24 第6節 (長岡高校)

1-2 糸魚川白嶺高校

7/12 第8節 (長岡工業高校)

0-5 長岡工業高校

7/19 第9節 (長岡ニュータウン)

0-1 中越高校

春季地区大会

5/6 (帝京長岡高校)
 0-5 十日町高校

秋季地区大会

11/10 (長岡ニュータウン)

0-6 長岡農業高校

【卓球部】

前期生

6/2～3 都市卓球大会 (十日町総合体育館)

男子団体 3位
 女子団体 3位

9/25 都市新人卓球大会 (十日町総合体育館)

男子団体 3位
 女子団体 2位
 男子個人 3位 荒木龍平
 女子個人 2位 長谷川楓
 2位 増田美海
 3位 羽吹茉莉

10/12 十日町市民スポーツ大会 (十日町総合体育館)

中学2年男子個人 3位 荒木龍平
 中学1年女子個人 優勝 増田美海
 中学2年女子個人 優勝 羽吹茉莉

11/3 中越地区新人卓球大会

(男子:長岡市南部体育館 女子:中之島体育館)
 中学2年男子個人ベスト32 荒木龍平
 中学1年女子個人ベスト16 増田美海
 ベスト32 古澤向日葵
 ベスト32 八木楓夏

12/6 県新人卓球大会 (小千谷総合体育館)

中学2年男子個人2回戦敗退 荒木龍平
 中学1年女子個人2回戦敗退 増田美海
 2回戦敗退 古澤向日葵
 2回戦敗退 八木楓夏

12/19 Tap オープン卓球大会 (津南町総合センター)

中学2年個人(男女共通) 3位 矢代竜雅
 中学1年個人(男女共通) 3位 増田美海
 3位 石沢海月

後期生

5/7・8 春季中越地区大会 (長岡市市民体育館)

女子団体1回戦 1-3 加茂高校

5/30 県総体 (リージョンプラザ上越)

女子ダブルス 1回戦敗退 尾身・山本組

7/31 県高校1年生大会 (豊栄総合体育館)

男子シングルス 1回戦敗退 高橋 順平

女子シングルス 3回戦敗退 山本 桜

2回戦敗退 古川 悠生

1回戦敗退 尾身 典香

10/24 秋季魚沼地区大会 (十日町市総合体育館)

男子シングルス1回戦敗退 高橋 順平

女子シングルス 9位 尾身 典香

13位 山本 桜

17位 古川 悠生

11/2・3 秋季魚沼地区大会 (十日町市総合体育館)

女子団体 1回戦 1-3 三条高校

女子シングルスベスト32 尾身 典香

11/15 県高校選抜卓球大会 (新潟市西川総合体育館)

女子シングルス 1回戦敗退 尾身 典香

【バレーボール部】

前期生

6/2 都市大会 (津南中学校)

予選リーグ敗退

0-2 南中学校

1-2 中里

9/25・26 都市新人戦 (松代中学校)

優勝

予選リーグ: 1位 2-0 中里

2-0 下条

決勝トーナメント

一回戦(準々決勝) 2-0 水沢

二回戦(準決勝) 2-1 十日町

決勝戦 2-0 川西

11/28 中越地区新人大会 (長岡市みしま体育館)

二回戦敗退 0-2 長岡東

1/10 都市一年生大会 (中条中学校)

3位

予選リーグ: 2位 2-0 中条

1-1 川西・中条・十日町合同

決勝トーナメント

一回戦 0-2 南

3位決戦 2-0 中里・水沢・松代合同

1/23 十日町バレーボール協会長杯 (十日町市総合体育館)

準優勝

予選リーグ: 2位 2-0 十日町

2-0 松之山・中条・合同

決勝トーナメント

準決勝 1-2 十日町

決勝 0-2 南

後期生

4/11 春季魚沼大会 (小千谷高校)

7位 (参加7校)

4/26 春期地区大会 (六日町高校)

0-2 六日町高校

6/5 県総体 (新発田中央高校)

0-2 新潟南高校

7/26 十日町オープン大会 (十日町市総合体育館)

1-2 十日町ジュニアB

9/5 選手権中越地区予選 (長岡商業高校)

0-2 長岡高校

11/14 秋季地区大会 (三条栄総合体育館)

0-2 小千谷西高校

12/19 秋季魚沼大会 (十日町総合高校)

6位 (参加8校)

【吹奏楽部】

8/5 第56回 新潟県吹奏楽コンクール

高等学校Bの部 (新潟市芸術文化会館) 銀賞

11/13 第39回新潟県アンサンブルコンテスト

高等学校の部 (柏崎市文化会館アルフォーレ) サクソフォーン四重奏 銅賞

管楽打楽器八重奏 銅賞

【科学部】

第59回日本学生科学賞 中学生の部

努力賞 「キュウリはなぜ曲がるのか」
 2年 佐藤貴也